

| 令和2年度 教育委員会 主要施策点検・評価表 | | | 有効性…… 1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果 必要性…… 1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠 方向性…… 1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大 | | | |
|---------------------------|---------------------|-------|--|-----|-----|---|
| No. | 主要施策名 | 主管課 | 有効性 | 必要性 | 方向性 | 総合点検・評価 |
| 1 | 学校基本調査 | 学校教育課 | 2 | 3 | 4 | 各小中学校に関する基本的事項を調査し、学校教育行政上の基礎資料となるため必要不可欠である。 |
| 2 | 教育研修センター事業 | 学校教育課 | 2 | 3 | 4 | 教職員の研修、情報教育・環境教育・副読本資料作成の各委員会において専門的・技術的な調査研究を行なっている。近年、問題を抱える児童・生徒数の増加や不登校児童生徒の相談等の重要性が高まるなかで、臨床心理士による相談の実施など相談事業の強化を図るとともに、不登校の早期解決のため、適応指導教室（スマイル教室）と連携する中で活動した。また親善音楽会・演劇鑑賞・社会科見学は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止されたものも多かったが、事務事業全般について適切な執行がなされたことにより、学校現場からの要請に応えている。 |
| 3 | 障害児教育事業（特別支援学級設置事業） | 学校教育課 | 2 | 2 | 4 | 障害のある児童・生徒1人1人の状態に応じたきめ細やかな教育が受けられるよう障害児教育の一環として特別支援学級を設置、運営する中で教員補助員を配置し、支援教育の充実を図っている。 |
| 4 | 学生アシスタント・ティーチャー事業 | 学校教育課 | 1 | 2 | 4 | 都留文科大学と連携のもと、教員志望学生を学生アシスタントティーチャー（SAT）として市内小中学校へ配置し、児童・生徒へきめ細かな指導の充実と大学における教員教育の発展を地域とともに目指していくことを目的に実施している。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、1、3学期は事業が完全に中止となる中で2学期も10月～11月の短期間のみの実施の影響もあり、十分な効果が得られない状況であった。令和3年度以降は、新型コロナウイルス感染症対策を図りながら、派遣を実施していく予定である。 |
| 5 | 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業 | 学校教育課 | 2 | 3 | 4 | スクールガードリーダーによるパトロールや安全指導、市職員による青色パトロールなどを行なうことで、子ども達が安心して教育が受けられる環境が確保されている。スクールガード・ボランティアによる地域の見守りなど、家庭、地域、学校が連携した地域力の向上が図られている。 |

| No. | 主要施策名 | 主管課 | 有効性 | 必要性 | 方向性 | 総合点検・評価 |
|-----|---------------|-------|-----|-----|-----|---|
| 6 | 教員住宅管理事業 | 学校教育課 | 2 | 2 | 4 | 大幡教員住宅18戸・深田教員住宅15戸にかかる修繕等の維持管理が適切に行われ、人事交流教職員の住環境の整備が図られている。ただし、利用者の減少等により教員住宅の有効な利用方法を引き続き検討していく必要がある。 |
| 7 | 教育課程特例校推進事業 | 学校教育課 | 2 | 2 | 4 | 文部科学省から教育課程特例校(英語特区)の指定を受け、1年生から6年生まで、一貫性を持たせた「英語科」を設置しており、小学校1・2学年は、週1時間、年間35時間を増設し、3・4学年は総合的な学習の時間を年間35時間削減し、「英語科」に充てている。5・6学年は、週2時間の外国語活動の時間を「英語科」に組み替えながら、カリキュラムを都留文科大学の支援を受ける中で、独自の指導計画を策定している。また、専任の英語指導助手(ALT)を配置し、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力を育成している。令和2年度で指定の最終年度を向かえたが、文部科学省より令和8年度までの継続指定を受けている。 |
| 8 | 学力向上フォローアップ事業 | 学校教育課 | 2 | 2 | 4 | 児童生徒の学習支援を行うため、放課後、長期休暇等を活用し、補習的な指導を行い、教科における基礎学力を身に付けさせる取り組みを行う。令和2年度は、教員OB、市担教員、都留文科大学学生や教員補助員が会計年度任用職員となり年間を通じて配置されたため、それらの人材を自校もしくは他校へ派遣することにより、児童生徒の学習支援活動を実施した。 |
| 9 | 外国語指導者招致事業 | 学校教育課 | 2 | 2 | 4 | 中学校における英語教育の充実及び令和2年度から実施される新学習指導要領により、小学校3・4年生の「外国語活動」、小学校5・6年生の「外国語(英語)科」の授業に先行し、小学校からの要請に応じ、英語指導助手(ALT)6名を配置し、授業の指導補助等を行なうことにより、英語教育の充実と国際理解が深まっている。さらに、コミュニケーション能力の向上等が問われている現在、その役割は益々重要となっており、より一層、事業を充実させる必要がある。 |
| 10 | 学校運営協議会設置推進事業 | 学校教育課 | 2 | 2 | 4 | 文部科学省から学校運営協議会設置推進事業推進校(コミュニティ・スクール)の指定を受け、保護者・地域住民が学校運営に参画し、学校組織全体の総合力を高める協議会を設置している。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で運営協議会会議の開催は見送られたが、市内で唯一設置されている旭小学校学校運営協議会においては、学校運営の様々な場面でオブザーバーとしての役割を果たしている。 |

| No. | 主要施策名 | 主管課 | 有効性 | 必要性 | 方向性 | 総合点検・評価 |
|-----|----------------------------|-------|-----|-----|-----|--|
| 11 | 適応指導教室(スマイル教室)事業 | 学校教育課 | 2 | 3 | 5 | 不登校児童生徒に対する学習補充援助や再登校への意欲を持たせることを目的とした適応指導教室(スマイル教室)を開設し、不登校児童・生徒の居場所として受入を開始した。教育研修センターと連携し、不登校に陥っている児童生徒に対する学習補充援助や仲間との触れ合いを通じ、再登校へ繋げる支援を実施した。 |
| 12 | 小学校管理事業 | 学校教育課 | 2 | 3 | 4 | 小学校の教育目標を達成するために必要な施設・設備の整備及び保守・維持管理を効率的に実施し適切な施設管理を行った。 |
| 13 | 小学校教育振興事業 | 学校教育課 | 2 | 3 | 5 | 小学校の授業等に使用する教材・図書の購入及び教育機器の整備及び維持管理を実施するとともに、経済的理由により就学困難な児童への援助などを行なうことにより、授業の円滑な進行、教育内容の充実が図られた。 |
| 14 | 中学校管理事業 | 学校教育課 | 2 | 3 | 4 | 中学校の教育目標を達成するために必要な施設・設備の整備及び保守・維持管理を効率的に実施し適切な施設管理を行った。 |
| 15 | 中学校教育振興事業 | 学校教育課 | 2 | 3 | 5 | 中学校の授業等に使用する教材・図書の購入及び教育機器の整備及び維持管理を実施するとともに、経済的理由により就学困難な生徒への援助などを行なうことにより、授業の円滑な進行、教育内容の充実が図られた。 |
| 16 | 新型コロナウイルス感染症対策事業(接触感染防止対策) | 学校教育課 | 2 | 3 | 4 | 学校教育活動等の実施にあたり、感染症対策等を徹底しつつ子供たちの学習保障を行うために、感染症拡大防止対策消耗品や備品を購入した。また、全ての児童・生徒にマスクの配付を行った。 |

| No. | 主要施策名 | 主管課 | 有効性 | 必要性 | 方向性 | 総合点検・評価 |
|-----|--------------------------------|-------|-----|-----|-----|--|
| 17 | 新型コロナウイルス感染症対策事業(指導員等緊急配置対策) | 学校教育課 | 2 | 3 | 4 | 臨時休業中の未指導分の補修等や全体指導・個別指導の補助にあたる「学習指導員」や資料作成・校内の消毒作業等教員の業務をサポートする「スクールサポートスタッフ」などを配置し、きめ細かな学習支援と教職員の負担軽減を図った。 |
| 18 | 新型コロナウイルス感染症対策事業(GIGAスクール構想対策) | 学校教育課 | 2 | 3 | 5 | 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、小・中学校が休業となったこと等により、GIGAスクール構想の前倒しされたことにより1人1台タブレット端末を購入するなど令和3年度からの事業開始に向けた取組を実施した。 |
| 19 | 学校給食運営事業 | 学校教育課 | 2 | 3 | 4 | 安全安心な学校給食を提供するための施設である、学校給食センター1箇所・単独校調理場2箇所の衛生管理、施設及び設備の維持管理を行なうことにより、事故の未然防止、給食の安定的な供給が行われた。 |
| 20 | 学校給食会委託事業 | 学校教育課 | 2 | 2 | 4 | 市内小中学校11校、児童・生徒及び教職員約2,300名に提供する学校給食の食材の購入及び調理業務を都留市小中学校給食会に委託していることにより、安全安心で美味しい給食の提供が図られた。学区給食費が令和4年度から公会計に移行することが決定されたため、徴収システムの選定等、公会計化の実施に向けた準備を開始した。 |
| 21 | 生涯学習推進事業 | 生涯学習課 | 2 | 2 | 4 | <p>コロナの影響により、いきいきフェスティバルの中止、生涯学習推進月間イベントの縮小など、例年どおりの取り組みが実施できなかったが、新規の取り組みとして、生涯学習に関する情報を広く市民に周知するため、「生涯学習ガイドブック」を作成し、全世帯配布により、市民の学習意欲を高めるための取り組みを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都留いきいきフェスティバル(中止) ・都留市生涯学習推進計画の策定 ・生涯学習ガイドブックの作成・配布 ・ふれあい講座(44講座、608人受講) ※参考→前年度(45講座、2,166人受講) |

| No. | 主要施策名 | 主管課 | 有効性 | 必要性 | 方向性 | 総合点検・評価 |
|-----|-------------------|-------|-----|-----|-----|--|
| 22 | 成人式事業 | 生涯学習課 | 2 | 2 | 4 | <p>コロナの影響により、例年より自粛者が多く出席者数は減少したが、コロナ禍にあっても、人数制限や式典時間の短縮、3密の回避等により、徹底した感染防止対策を講じて式典を開催することができた。</p> <p>【出席者数】 該当者555人のうち207人(37.3%) ※参考→前年度 該当者618人のうち288人(46.6%)</p> |
| 23 | 公民館各種教室・公民館学級費事業 | 生涯学習課 | 2 | 3 | 4 | <p>コロナの影響により、例年どおりの取り組み・活動が困難であったが、できる範囲の中で公民館活動を実施することができた。今後も、感染防止対策の徹底を図り、学習機会・学習場所の提供や市民への生涯学習活動へ支援に努めていく。</p> <p>○公民館教室 ・<u>うらやま観察会教室</u> 学習回数:5回、参加者数合計:24人 参考→前年度 学習回数:16回、参加者数合計:290人 ・<u>植物観察会教室(中止)</u></p> <p>○公民館学級 ・<u>登録学級数 33(支援学級:3、自主学級:30)</u> 参考→前年度 32(支援学級:3、自主学級:29) ・<u>活動総数 372回(支援学級22、自主学級:350)</u> 参考→前年度 617回(支援学級:74、自主学級:543)</p> |
| 24 | はつらつ鶴寿大学事業 | 生涯学習課 | - | 3 | 4 | <p>※新型コロナウイルス感染症感染拡大及び感染防止のため休校 令和2年度は1年間の休校とし、全学年の学生はそのまま令和3年度に移行することとした。学生が高齢であることから、感染防止対策に十分配慮する中で、事業の充実、他組織との連携や交流を進めていけるよう具体的な方策を検討していく。</p> |
| 25 | まちづくり交流センター管理運営事業 | 生涯学習課 | 2 | 3 | 4 | <p>市民活動支援センター及び大学地域交流研究センター、ファミリーサポートセンターを同施設内に設置することで、それぞれの機関が日常的に連携できる体制を整備し、利用者の増加や市民の学びと交流を促している。</p> <p>コロナの影響により、施設の臨時休館・利用制限等を行ったため、利用率は減少したが、開館期間については、感染防止対策の徹底を行う中、安全・安心な利用促進に努め、目的に沿った管理・運営をすることができた。</p> <p>【施設の利用率】 令和2年度 33.9%、令和元年度 52.2%</p> |

| No. | 主要施策名 | 主管課 | 有効性 | 必要性 | 方向性 | 総合点検・評価 |
|-----|---------------------------------|-------|-----|-----|-----|--|
| 26 | 図書館運営事業 (新型コロナウイルス感染症対策事業含む) | 生涯学習課 | 2 | 3 | 4 | <p>コロナ対策として、臨時休館、利用時間、人数・サービス等の縮小、制限を行い、更には、多くの行事・イベントは催行できなかったが、時宜に合う内容での企画を行った。紫外線を使って書籍からごみ・ほこり等を除去する機会を購入し、感染予防に配慮した運営を行った。</p> <p>【貸出冊数】 令和2年度 45,732冊、令和元年度 73,765冊 【貸出人数】 令和2年度 11,527人、令和元年度 20,381人</p> |
| 27 | 読書支援・子ども読書活動支援事業 | 生涯学習課 | 2 | 3 | 4 | <p>視聴覚障がい者や高齢者等、通常の図書館資料の利用が困難な市民等に対する図書館サービス(視覚障がい者向け朗読CDの購入、聴覚障がい者向け字幕付きDVDの購入等)を実施した。</p> <p>また、子どもの読書活動を促進するため、子どもの発達段階(年齢)に即した3つの施策(①ブックスタート「7か月乳児世帯」、②セカンドブック「小学1年生」、③サードブック「小学4年生」)による読書活動を促進した。</p> |
| 28 | 青少年健全育成事業 | 生涯学習課 | 2 | 3 | 4 | <p>地域のジュニアリーダーとして活躍できる人材の育成を目指し、「のびのび興譲館事業」を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年行っている宿泊を伴う活動やバス移動の活動ができず活動内容に制限があったものの、塾生の出席率は非常に高かった。</p> <p>コロナ禍においても、子供達の体験活動や交流の機会が奪われることのないよう、塾生の安全確保に努めながら活動内容を工夫していく。また塾生のアンケートを踏まえ、新たな塾の創設も視野に検討していく。</p> |
| 29 | 放課後子ども教室事業 | 生涯学習課 | 2 | 3 | 4 | <p>コロナ禍にあって、例年どおりの活動が困難であったが、子ども教室のガイドラインを作成し、放課後や週末等の子どもたちの安全・安心な居場所づくりとして、各地域協働のまちづくり推進会等の協力を得て、できる範囲の中で「放課後子ども教室」を実施した。</p> <p>地域の指導員は感染リスクの高い高齢者が多いため、学生等も含めた新たな指導員の確保を検討していく。</p> |
| 30 | 増田誠大賞公募展開催事業 | 生涯学習課 | 2 | 2 | 4 | <p>名誉市民第1号の増田誠画伯の業績を顕彰し、地域の芸術文化の振興を目的としており、特に小中学生が絵画を描くきっかけづくりとして公募展を開催している。</p> <p>募集方法の周知について、チラシ以外にも新規にホームページ等を追加したことにより、公募展への出品点数の増加へとつながった。</p> <p>【出品点数】 令和2年度:373点、令和元年度:271点</p> |

| No. | 主要施策名 | 主管課 | 有効性 | 必要性 | 方向性 | 総合点検・評価 |
|-----|-------------|-------|-----|-----|-----|--|
| 31 | 芭蕉の里づくり事業 | 生涯学習課 | 2 | 2 | 4 | <p>毎年5月の最終土曜日に全国俳句大会を実施し、都留市が松尾芭蕉ゆかりの地であることを全国にアピールするとともに、多くの俳句愛好家とのふれあいの場を提供し、俳句の振興を図っている。新型コロナウイルス感染症感染拡大により、「第27回都留市ふれあい全国俳句大会」中止としたが、事前応募での作品数は、例年規模の応募があった。</p> <p>【応募作品数(事前応募分)】 令和2年度:4,146句、令和元年度:4,642句</p> |
| 32 | 文化財保護事業 | 生涯学習課 | 2 | 3 | 4 | <p>文化財保護法及び市文化財保護条例に基づき、埋蔵文化財包蔵地内における立会調査など市内の文化財の保護と活用に努めた。</p> <p>郷土の優れた歴史・文化財を市民にPRし、保護・活用の啓発、地域文化・伝統の継承を推進していく。また、文化財の調査研究には、時間と知識が必要であり人材の育成が必要である。</p> |
| 33 | 尾県郷土資料館運営事業 | 生涯学習課 | 2 | 3 | 4 | <p>明治初期に造られた藤村式と呼ばれる擬洋風の建造物で、県有形文化財に指定されている。地元の人達が協力会を組織して、資料館の運営・保存に積極的に参加しており、この関係を継続すべきである。コロナの影響により、施設の臨時休館等を行ったため来館者数は減少したが、開館期間は、感染防止対策の徹底を行う中、安全・安心な利用促進に努め、目的に沿った管理・運営をすることができた。</p> <p>【来館者数】 令和2年度:2,218人、令和元年度:2,309人</p> |
| 34 | 商家資料館運営事業 | 生涯学習課 | 2 | 2 | 4 | <p>大正10年に建てられた絹問屋兼住宅で、都留市有形文化財に指定されている。貴重な建造物であるため、次世代に継承するためにも維持・管理が必要である。</p> <p>令和2年度は、資料館裏の土地を購入し整地を行った。今後は、駐車場の確保や資料館裏の敷地を有効活用したイベント等を企画し、魅力ある資料館となるような工夫を行い、これまで以上に集客増加に努めていく。</p> <p>コロナの影響により、施設の臨時休館等を行ったため、来館者数は減少したが、開館期間は、感染防止対策の徹底を行う中、安全・安心な利用促進に努め、目的に沿った管理・運営をすることができた。</p> <p>【来館者数】令和2年度:214人、令和元年度:592人</p> |

| No. | 主要施策名 | 主管課 | 有効性 | 必要性 | 方向性 | 総合点検・評価 |
|-----|-----------------------|-------|-----|-----|-----|---|
| 35 | ミュージアム都留管理運営・企画展等開催事業 | 生涯学習課 | 2 | 2 | 4 | <p>特別展として全国的にも人気の高い「刀剣展」を開催し、県内外の多くの方が来館したことにより、都留市のPR等にも繋がった。コロナの影響により、全体的に来館者数は減少したが、今後も魅力ある博物館づくりを進めるため、企画展のPR動画などを作成し、県内外の方への情報発信に努め、集客の増加に努めていく。</p> <p>【来館者数】 令和2年度:5,081人、令和元年度:7,820人</p> |
| 36 | 都の杜うぐいすホール管理運営事業 | 生涯学習課 | 2 | 3 | 4 | <p>市民へ上質で多種多様な芸術文化を鑑賞する機会を提供することと、市民の文化活動の場として重要な役割を担っている施設である。なお、建築後20年以上が経過し、施設の長寿命化を図るため、照明や音響、舞台機構等の設備更新や建物本体の修繕等の大規模改修の修繕費等の増加が見込まれる。</p> <p>コロナの影響により、施設の臨時休館等を行ったため利用率は減少したが、開館期間は、感染防止対策の徹底を行う中、安全・安心な利用促進に努め、目的に沿った管理・運営をすることができた。</p> <p>【施設の利用率】 令和2年度:48.1%、令和元年度:62.2%</p> |
| 37 | ふるさと会館管理運営事業 | 生涯学習課 | 2 | 3 | 4 | <p>コロナの影響により、施設の臨時休館、利用制限等を行ったため、会議室の利用率は低下したが、健康ジム(1階)については、市民の健康増進の拠点として有効活用された。今後も感染防止対策の徹底を行う中、安全・安心な利用促進に努めていく。</p> <p>ふるさと会館は、ひゅあ富士との併設施設であり、市民の自主的な学習・交流の場として役割を担っている。1階健康ジムを含めた全館的な視点で、館内スペースの有効活用のための施策を検討していく。</p> <p>【施設の利用率】 令和2年度:4.8% 令和元年度:12.4%</p> |
| 38 | 体育スポーツ振興・奨励事業 | 生涯学習課 | 2 | 2 | 5 | <p>※スポーツイベント等の中止</p> <p>コロナの影響により、市民の健康や安全面を優先し、つる湧水の里ハーフマラソン、市体育祭り、市民運動会、歩け歩け大会、軽スポーツ教室等の多くのスポーツイベントを中止とした。</p> <p>(代替イベント)</p> <p>スポーツイベントの中止により、スポーツに触れる機会が減少していることから、コロナ禍にあって、人を集めることなく、気軽に楽しく参加できる取り組みとして、スマートフォンアプリを活用したスポーツイベント(走行・歩行距離を競う)に参加し、新しいスポーツ事業を展開した。</p> <p>【参加者】市民504人、ウォーキングの部参加率ランキング全国第1位</p> |

| No. | 主要施策名 | 主管課 | 有効性 | 必要性 | 方向性 | 総合点検・評価 |
|-----|------------------------------------|-------|-----|-----|-----|---|
| 39 | 体育施設管理運営事業 (新型コロナウイルス感染症対策事業含む) | 生涯学習課 | 3 | 3 | 4 | <p>※<u>体育施設予約システムの導入</u></p> <p>体育施設の使用申請手続きについて、新型コロナウイルス感染症防止の目的も含め、これまで書面による使用許可申請、使用許可書発行等をシステム活用したオンライン化への導入を進めた。(使用開始は令和3年4月)</p> <p>老朽化が見受けられる施設については、計画的に修繕・改修を行っていく。</p> |
| 40 | 東京オリンピック・パラリンピック関係事業 | 生涯学習課 | - | 3 | 4 | <p>コロナの影響により、東京オリンピック・パラリンピックが延期されたため、聖火リレー等の関連行事は次年度へ繰り越した。</p> |